

2027年度 看護学研究科 看護学専攻〔学生募集要項〕

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

I 大学院教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか

本研究科は、実践看護分野、看護マネジメント分野、助産学分野の3つの分野からなる。

実践看護分野では、高度な専門的知識を獲得させ、専門職業人たる看護実践能力を向上させ、研究的思考能力を開発するとともに、人々のニーズを汲み取る感性と豊かな表現力を養う。

看護マネジメント分野では、複雑な看護課題を解決するために必要な柔軟な思考力、的確な判断力、高度な専門的知識・技能を獲得させるとともに、研究思考能力を開発する。

助産学分野では、生涯にわたるリプロダクティブ・ヘルス/ライツへの支援について、高度な臨床能力と研究的思考能力を備えた助産師を養成する。

II 入学者に求める能力は何か

- ❶大学卒業程度以上の看護学の基本的な知識・技能を有している人
- ❷看護学に対する深い関心をもつ人
- ❸研究の遂行に必要なコミュニケーション能力、思考力、分析能力及び記述能力のある人
- ❹高い倫理観のもと、人々の健康のために働く強い意志と協調性をもつ人
- ❺看護の実践、看護学の教育研究において、自主的に課題を発掘し解決することを志向する人

III 入学者に求める能力をどのように評価するのか

【実践看護分野・看護マネジメント分野】

入学者の評価は、小論文と面接によって行う。小論文では主に、知識、思考力、分析能力、記述能力について評価する。面接では、看護学に対する関心、コミュニケーション能力、倫理観、協調性、課題解決志向を中心に評価する。

【助産学分野】

入学者の評価は、小論文、筆記試験(専門科目)と面接によって行う。小論文、筆記試験では主に、母性看護学に関する知識、思考力、分析能力、記述能力について評価する。面接では、助産学に対する関心、コミュニケーション能力、倫理観、協調性、課題解決志向を中心に評価する。

募集人員

研究科	専攻(課程)	専攻分野・領域	募集人員
看護学研究科	看護学専攻(修士課程)	●実践看護分野 成育看護学領域、助産学領域、成人・高齢者看護学領域、精神看護学領域、災害看護学領域 ●看護マネジメント分野 地域保健看護学領域、看護管理学領域、感染管理学領域	6名 ※そのうち 助産学領域2名

修業年限2年(長期履修制度による修業年限3年)

助産師課程の希望者の領域は、助産学領域になります。助産学領域の方が、長期履修制度を利用する場合、2年で助産学特論、助産学特論演習、助産学分野の単位修得を終え、3年目で特別研究の履修となります。

※各領域において、定員に達した場合、その後の募集を終了し、入学試験を実施しない場合があります。

入学試験日程等

※4月入学対象(後期入学希望の方はお問い合わせください。)

入試区分		第I期	第II期	第III期
募集人員		6名(そのうち助産学領域2名)		
出願期間		2026年9月8日(火)～9月24日(木)	2026年11月19日(木)～12月2日(水)	2027年1月13日(水)～1月28日(木)
試験日		2026年10月4日(日)	2026年12月14日(月)	2027年2月6日(土)
合格発表日		2026年10月13日(火)	2026年12月23日(水)	2027年2月26日(金)
入学手続き締切日	1次	2026年10月30日(金)	2027年1月6日(水)	2027年3月8日(月)
	2次	2026年11月11日(水)	2027年1月20日(水)	2027年3月15日(月)

出願資格

本研究科の出願資格は、入学年度の4月1日において次の各号に掲げる要件のいずれかに該当する者となります。なお、入学者は看護師免許を有する者(2027年4月に免許を取得見込みの者を含む)とします。

※養護教諭専修免許課程を希望する者は、看護師免許および養護教諭一種免許を有する者(2027年3月に免許を取得見込みの者を含む)とします。

以下①～⑦の規定に外れる上記有資格者については、個別の出願資格審査(出願資格の認定を参照)を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる場合は、出願を認めることとします。

- ❶大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者
- ❷独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ❸外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ❹外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- ❺我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(その修了者が当該国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を修了した者
- ❻外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ❼指定された専修学校の専門課程(修業年限が4年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を修了した者
- ❽研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で
入学前年度末までに22歳に達した者

出願資格の認定

出願資格⑧により出願を希望する者は、事前に出願資格認定審査を行います。以下の必要書類を取り揃え、提出してください。なお、必要書類ではありませんが、出願時以前に在籍していた学校等の指導教員からの「推薦書」(A4書式自由)を添付いただいても構いません。

	必要書類	摘要
1	出願資格認定審査申請書	本研究科所定の用紙(様式-N2)
2	看護師免許証のコピー	看護師以外の保健師、助産師の免許を取得している方は、すべて提出してください。
3	最終出身学校の卒業証明書	最終出身学校の学校長が作成し厳封したもので、発行日から6か月以内のもの。
4	最終出身学校の成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し厳封したもので、発行日から6か月以内のもの。

- 受付期間:第I期:2026年8月17日(月)～2026年9月7日(月)
第II期:2026年10月22日(木)～2026年11月12日(木)
第III期:2026年12月9日(水)～2027年1月6日(水)

- 提出先:〒567-0012 大阪府茨木市東太田4丁目5番4号 藍野大学 入試広報グループ 宛

- 認定審査結果の通知:認定審査結果は、申請書到着日から1週間程度で申請者宛てに通知します。

選考方法

選考は、小論文および面接の総合判定により行います。小論文は、次の専攻領域の中から志望する領域で出題します。

助産学領域においては、小論文、筆記試験（専門科目）と面接の総合判定により行います。小論文、筆記試験は母性看護学から出題します。

面接は、志望する専攻領域および研究テーマに関する内容で行います。

- 保育看護学 ■成人・高齢者看護学 ■助産学 ■精神看護学 ■災害看護学 ■地域保健看護学 ■看護管理学 ■感染管理学

試験時間割(全日程共通)

8:50～9:15	9:20～9:30	9:30～11:00	11:30～
受付	オリエンテーション	小論文 助産学領域は小論文・ 筆記試験（専門科目）	面接

試験会場

藍野大学／大阪府茨木市東太田4丁目5番4号
受付場所：MLC棟1F

受験上の注意

- 試験当日は、受験票を提示のうえ受付を終え、試験開始の15分前までに必ず指定の試験会場に入室してください。
- 受験票を忘れた場合は、受付に申し出て指示に従ってください。
- 試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験することができません。また、試験時間の途中で退出することはできません。
- 使用できる用具は、HBあるいはBの鉛筆（シャープペンシル可）・消しゴム・鉛筆削りおよび時計（時計機能だけのもの）です。その他のものを机上に置くことはできません。
- 試験会場には備え付けの時計が無い場合があります。必要な方は時計機能のみ付いた腕時計をご持参ください。辞書、電卓、端末等の機能の有無が判別しづらいものを使用していた場合は、試験終了まで預かることがあります。
- 試験会場への入場の際は、携帯電話の電源は必ず切り、カバンの中に入れてください。
- 試験会場においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。
- 公共交通機関および大学のスクールバスをご利用ください。
自家用車による大学内の駐車場利用を希望する場合は、事前にご連絡ください。

学費等

修業年限2年の場合

	入学金	授業料(前期)	授業料(後期)	施設設備費	合計 (助産師課程以外)	実験実習費 (助産師課程)	合計 (助産師課程)
初年度	100,000円	300,000円	300,000円	150,000円	850,000円	250,000円	1,100,000円
2年次	—	300,000円	300,000円	150,000円	750,000円	250,000円	1,000,000円

修業年限3年(長期履修制度利用)の場合

	入学金	授業料(前期)	授業料(後期)	施設設備費	合計 (助産師課程以外)	実験実習費 (助産師課程)	合計 (助産師課程)
初年度	100,000円	200,000円	200,000円	150,000円	650,000円	250,000円	900,000円
2年次	—	200,000円	200,000円	150,000円	550,000円	250,000円	800,000円
3年次	—	200,000円	200,000円	150,000円	550,000円	—	550,000円

※初年度学費の納入パターンはP28参照

出願書類

必要書類	摘要
Web入学願書	Web出願サイトにて、出願登録・入学検定料支払い後に印刷したもの。 (顔写真はWeb上に画像データをアップロードしてください。)
志望理由書	本研究科所定の用紙(様式-N1)
卒業、修了(見込)証明書	看護系の大学、短期大学、専修学校等の学校長が作成したもので、発行日から6か月以内のもの。 ただし、最終学歴が看護系学校以外の場合、看護系学校および最終学歴校それぞれの証明書を提出すること。 ※卒業等証明書が提出できない場合は、出願資格を証明できる文書(原本)を提出すること。 ※改姓により、出願時の氏名と証明書の氏名が異なる場合は、改姓の事項が記載された公的証明書を提出すること。 ※事前の出願資格認定審査で提出した場合は省略可。
成績証明書	看護系の大学、短期大学、専修学校等の学校長が作成し厳封したもので、発行日から6か月以内のもの。 ただし、最終学歴が看護系学校以外の場合、看護系学校および最終学歴校それぞれの証明書を提出すること。 ※成績証明書が提出できない場合は、その理由について記したもの(A4様式自由)を提出すること。 ※事前の出願資格認定審査で提出した場合は省略可。
看護師・保健師・助産師・ 養護教諭一種免許証(免許状)の コピー(免許保持者のみ)	看護師・保健師・助産師・養護教諭一種の免許を有している方は、すべて提出してください。 ※事前の出願資格認定審査で提出した場合は省略可。
出願資格認定証のコピー (出願資格⑧の個別認定 による出願者のみ)	出願資格の認定を受け、本学より送付する書類の写しを提出してください。

入学検定料

各日程／30,000円

相談窓口教員との事前相談

出願者は、志望する専攻領域について、事前に相談窓口教員と、修士課程における学修、研究テーマ等について相談してください。

教員への連絡は、29ページの「研究領域と連絡先」をご参照ください。

長期履修制度の利用を申請する場合は、事前に相談窓口教員へ相談の上、Web出願時に指定欄にチェックして申請してください。

2027年度 健康科学研究科 健康科学専攻〔学生募集要項〕

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

解剖・生理・運動・栄養学、スポーツ科学、認知科学・心理学といった基盤的知識を補強し、大学院での学びを経て、国および地域の現状を理解し、健康寿命延伸に向けた科学的根拠に基づく発展的な問題解決方法の提案を通して健康増進事業の推進に寄与できる人材を養成するにあたり、以下のような素養を持つ学生の入学を期待する。

1解剖・生理・運動・栄養学、スポーツ科学、認知科学・心理学といった基盤的知識を有しているとともに、学士課程修了レベルに相当する論証能力を有している。

2国および地域における健康増進事業および健康寿命の延伸に関係する問題意識を有している。

3科学的根拠をもとに、健康寿命延伸に関する研究領域に寄与しようとする姿勢を有している。

入学者に求める能力をどのように評価するのか

入学者の評価は、小論文もしくは専門科目筆記試験と面接によって行う。小論文もしくは専門科目筆記試験では主に、基盤的知識と論証能力と関連する思考力、分析能力、記述能力について評価する。面接では、健康科学に関する知識と関心および問題意識、問題解決を通して健康寿命延伸に寄与しようとする姿勢を中心に評価する。

募集人員

研究科	専攻(課程)	領域	募集人員
健康科学研究科	健康科学専攻 (修士課程)	認知健康科学領域Ⅰ 高次脳機能障害や精神疾患・障害に対する評価法やリハビリテーションの検討等をテーマとする	6名
		認知健康科学領域Ⅱ 生活習慣病や精神疾患の地域社会における問題、およびその対策法の検討等をテーマとする	
		身体健康科学領域Ⅰ 廃用予防や生活習慣病の予防に必要なスポーツ科学の理論を学修する内容等をテーマとする	
		身体健康科学領域Ⅱ 呼吸・代謝障害、生活習慣病の予防や適切な運動処方の検討等をテーマとする	

修業年限2年(長期履修制度による修業年限3年)

※各領域において定員に達した場合、募集を終了し、その後の入学試験を実施しない場合があります。

入学試験日程等

※4月入学対象(後期入学希望の方はお問い合わせください。)

入試区分		第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期
入試形態		「一般選抜」「社会人選抜」「学内推薦」		
募集人員		6名		
出願期間		2026年9月8日(火)～9月24日(木)	2026年11月19日(木)～12月2日(水)	2027年1月13日(水)～1月28日(木)
試験日		2026年10月4日(日)	2026年12月13日(日)	2027年2月6日(土)
合格発表日		2026年10月13日(火)	2026年12月23日(水)	2027年2月26日(金)
入学手続き 締切日	1次	2026年10月30日(金)	2027年1月6日(水)	2027年3月8日(月)
	2次	2026年11月11日(水)	2027年1月20日(水)	2027年3月15日(月)

出願資格

本研究科の出願資格は、以下の①～⑦のいずれかに該当する者となります。

以下①～⑦の規定に外れる者については、個別の出願資格審査(出願資格の認定を参照)を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる場合は、出願を認めることとします。

- 1**大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者
- 2**独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- 3**外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- 4**外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- 5**我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(その修了者が当該国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を修了した者
- 6**外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 7**指定された専修学校の専門課程(修業年限が4年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を修了した者
- 8**研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で入学前年度末までに22歳に達した者

上記のいずれかに該当し、かつ次の各号に該当する者は、各入試形態にて出願することができる。

社会人選抜受験資格

- a**出願時年度末までに社会人としての実務経験を2年以上有する者で、22歳に達した者
- b**入学後も、保健・医療機関等で勤務を続ける場合は、当該勤務先の承認を得ている者

学内推薦試験受験資格

当該年度末に藍野大学を卒業見込みの者で、所属学科長の推薦が得られる者。(学内推薦の基準等は、所属する学科長もしくは指導教員にご確認ください。)

出願資格の認定

出願資格⑧により出願を希望する者は、事前に出願資格認定審査を行います。以下の必要書類を取り揃え、提出してください。なお、必要書類ではありませんが、出願時以前に在籍していた学校等の指導教員からの「推薦書」(A4書式自由)を添付いただいても構いません。

	必要書類	摘要
1	出願資格認定審査申請書	本研究科所定の用紙(様式-H2)
2	医療専門職種免許証のコピー (免許保持者のみ)	理学療法士、作業療法士などの医療専門職の国家資格免許証
3	最終出身学校の卒業証明書	最終出身学校の学校長が作成し厳封したもので、発行日から6か月以内のもの
4	最終出身学校の成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し厳封したもので、発行日から6か月以内のもの

- 受付期間：第Ⅰ期：2026年8月17日(月)～2026年9月7日(月)
第Ⅱ期：2026年10月22日(木)～2026年11月12日(木)
第Ⅲ期：2026年12月9日(水)～2027年1月6日(水)
- 提出先：〒567-0012 大阪府茨木市東太田4丁目5番4号 藍野大学 入試広報グループ 宛
- 認定審査結果の通知：認定審査結果は、申請書到着日から1週間程度で申請者宛てに通知します。

選考方法

選考は、出願時提出書類、小論文もしくは専門科目筆記試験および面接の総合判定により行います。出題内容は、志望する専攻領域および研究テーマに関する内容にて行います。

1	一般選抜試験	事前提出書類、専門科目筆記試験、面接
2	社会人選抜試験	事前提出書類、小論文、面接
3	学内推薦試験	事前提出書類、小論文、面接

試験時間割(全日程共通)

8:50～9:15	9:20～9:30	9:30～10:30	11:00～
受付	オリエンテーション	小論文/専門科目	面接

試験会場

藍野大学／大阪府茨木市東太田4丁目5番4号
受付場所：MLC棟1F

受験上の注意

- 試験当日は、受験票を提示のうえ受付を終え、試験開始の15分前までに必ず指定の試験会場に入室してください。
- 受験票を忘れた場合は、受付に申し出て指示に従ってください。
- 試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験することができません。また、試験時間の途中で退出することはできません。
- 使用できる用具は、HBあるいはBの鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム・鉛筆削りおよび時計(時計機能だけのもの)です。その他のものを机上に置くことはできません。
- 試験会場には備え付けの時計が無い場合があります。必要な方は時計機能のみ付いた腕時計をご持参ください。辞書、電卓、端末等の機能の有無が判別しづらいものを使用していた場合は、試験終了まで預かることがあります。
- 試験会場への入場の際は、携帯電話の電源は必ず切り、カバンの中に入れてください。
- 試験会場においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。
- 公共交通機関および本学のスクールバスをご利用ください。
自家用車による大学内の駐車場利用を希望する場合は、事前にご連絡ください。

学費等

修業年限2年の場合

	入学金	授業料(前期)	授業料(後期)	施設設備費	合計
初年度	100,000円	300,000円	300,000円	150,000円	850,000円
2年次	—	300,000円	300,000円	150,000円	750,000円

修業年限3年(長期履修制度利用)の場合

	入学金	授業料(前期)	授業料(後期)	施設設備費	合計
初年度	100,000円	200,000円	200,000円	150,000円	650,000円
2年次	—	200,000円	200,000円	150,000円	550,000円
3年次	—	200,000円	200,000円	150,000円	550,000円

※初年度学費の納入パターンはP28参照

出願書類

必要書類	摘要
Web入学願書	Web出願サイトにて、出願登録・入学検定料支払い後に印刷したもの。 (顔写真はWeb上に画像データをアップロードしてください。)
志望理由書	本研究科所定の用紙(様式-H1)
卒業、修了(見込)証明書	大学、短期大学、専修学校等の学校長が作成したもので、発行日から6カ月以内のもの。 ※卒業等証明書が提出できない場合は、出願資格を証明できる文書(原本)を提出すること。 ※改姓により、出願時の氏名と証明書の氏名が異なる場合は、改姓の事項が記載された公的証明書を提出すること。 ※事前の出願資格認定審査で提出した場合は省略可。
成績証明書	大学、短期大学、専修学校等の学校長が作成し厳封したもので、発行日から6カ月以内のもの。 ※成績証明書が提出できない場合は、その理由について記したもの(A4様式自由)を提出すること。 ※事前の出願資格認定審査で提出した場合は省略可。
医療専門職に関する免許証のコピー (免許保持者のみ)	理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、言語聴覚士等の国家資格免許を有している方は、すべて提出してください。 ※事前の出願資格認定審査で提出した場合は省略可。
在籍証明書 (社会人選抜試験の出願者のみ)	職務に従事していることを証明する書類(様式は任意。職種、在籍期間を明記すること)
所属学科長の推薦書 (学内推薦試験の出願者のみ)	所属学科長より推薦を受け、本研究科所定の用紙に記入のこと。
出願資格認定証のコピー (出願資格⑧の個別認定による出願者のみ)	出願資格の認定を受け、本学より送付する書類の写しを提出してください。

入学検定料

各日程／
30,000円

相談窓口教員との事前相談

出願者は、志望する専攻領域について、事前に相談窓口教員と、修士課程における学修、研究テーマ等について相談してください。教員への連絡は、29ページの「研究領域と連絡先」をご参照ください。
長期履修制度の利用を申請する場合は、事前に相談窓口教員へ相談の上、Web出願時に指定欄にチェックして申請してください。

2027年度「学生募集要項」

出願上の留意事項

- 出願書類は期日内に郵送もしくは持参してください(締め切り日必着)。
インターネット上で出願登録をしても、入学検定料の支払いや必要書類が届かない場合は出願とみなされません。
- 出願登録内容や出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- 一旦受理した出願書類および入学検定料は、理由の如何に関わらず返還できません。
- 出願内容に虚偽や不正の事実が判明したときは、合格や入学を取り消すことがあります。
- 疾病・負傷または障がい等により、本学の受験または修学にあたって配慮を希望する方は、
出願開始日の1か月前までに入試広報グループまでご連絡ください。なお、希望する配慮については対応できない場合があります。
- 出願手続きについて、不明な点がある場合は本学までお問い合わせください。

Web出願について

Web出願を導入しております。以下の手順をご確認の上、出願手続きを行ってください。

①事前準備

パソコンもしくはスマートフォン、タブレットとEメールアドレスが必要です。印刷が必要な書類がありますので、プリンターをご用意ください。

出願に必要な各種書類はお早めにご準備ください。

②出願サイトにアクセス



<https://univ.aino.ac.jp/ouen/>

藍野大学のホームページ「AINO受験ナビ入試情報サイト」から、Web出願サイト(Post@net)にアクセスしてください。

初めて出願する際はまずPost@netのアカウント新規登録を行ってください。『アカウント作成』より、利用規約に同意の上、必要事項を入力、仮登録から登録完了まで行ってください。

ログインの際は、登録のメールアドレスにその都度認証コードが届きますので、入力してログインしてください。

ログイン後、『**学校一覧**』から**藍野大学**を検索し、『**お気に入り登録**』をクリックしてください。

出願の前に「**はじめに**」をよく読んで確認してください。

③出願登録

Post@netにログイン後、藍野大学の『出願登録』から画面の指示に従い、出願する内容の選択・必要事項の入力をして、出願登録を行い、続けて入学検定料の支払い方法を選択してください。

1. 入試区分の選択

2. 試験日・志望学科・試験会場の選択

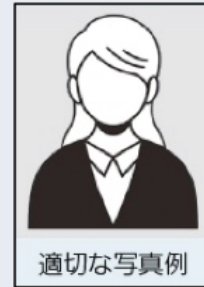
3. 志願者情報(氏名・住所等)の入力、顔写真アップロード

4. 入学検定料支払い方法の選択

※コンビニエンスストア・ペイジー・クレジットカードが選択できます。

出願登録が完了すると、「**Web出願登録完了**」のメールを送信します。

顔写真について



出願登録を行う際、顔写真データのアップロードが必要です。

出願登録前に写真店、デジタルカメラ、スマートフォン等で撮影し、データを準備しておいてください。

- 出願前3ヵ月以内にカラーで撮影したもの**
- 無帽、上半身正面、無背景(白・青・グレーを基調とした無地の背景)**
- データ形式はJPEG、HEIC形式、サイズは30MB以下**
- 画像加工や修正を施したものは使用不可**

アップロードされた顔写真は順次、確認を行います。

適切である場合、「顔写真承認」のメールを送信します。

個人が特定しづらい、不鮮明などの場合、「顔写真“否認”」のメールを送信しますので、

Web出願サイト(Post@net)の『出願内容一覧』の『出願内容を確認』ページにて、再度顔写真をアップロードしてください。

※確認はリアルタイムではありませんので、メールの到着を待たずに、次のステップに進み、出願を完了させてください。

④入学検定料のお支払い

選択した支払い方法にて、入学検定料を納入してください(入学検定料の他に、支払い手数料をご負担いただけます)。

・コンビニエンスストア・ペイジーの場合、出願登録の翌日23時59分まで(出願期間最終日は当日中)にお支払いください。

※支払期限を過ぎた場合は、初めから出願登録をやり直してください。

・クレジットカードの場合、Web出願サイト上で、カード情報を入力しお支払いを実行すると、即時決済され、支払いが完了します。

※二重決済を防ぐため、画面上の「お支払い」ボタンは2回以上押さないでください。

支払いが完了すると、「**Web出願支払完了**」のメールを送信します。

⑤出願書類の提出

Web出願サイト(Post@net)にログインし、『出願内容一覧』の「出願内容を確認」ボタンから、「Web入学願書」と「封筒貼付用宛名シート」を拡大・縮小せずにA4サイズで印刷してください。

市販の封筒(角2サイズ)に「封筒貼付用宛名シート」を貼りつけ、必要書類一式を同封して、本学まで簡易書留で郵送もしくは持参にて提出してください。

↑ ここまでの手続きを出願期間内に行ってください。↑

全ての出願手続きが完了すると、「**受験票作成完了**」のメールを送信します。

⑥受験票の印刷・受験

メール受信後、Web出願サイト(Post@net)にログインし、『出願内容一覧』の「出願内容を確認」ボタンから、「**受験票**」をダウンロードして印刷し、必要箇所を切り取って、試験当日持参してください。

※試験日の2日前になっても通知メールが届かない場合は、本学までご連絡ください。

合格発表

■合格発表は、それぞれの日程の合格発表日(P17、P21 入学試験日程等 を参照)の午前10時に、藍野大学Web合否照会サイトにて発表します。閲覧可能期間は1週間です。

■合否についての電話等による問い合わせには一切応じられません。

■合格者には、入学手続きに必要な書類一式(学費納付書を含む)を送付しますので、指定された期日までに学費等の納入及び書類を作成し、入学手続きを行ってください。(不合格者には選考結果通知書は送付いたしません。)

藍野大学Web合否照会サイト

<https://www.postanet.jp/gouhi/012546>

受験番号と誕生月日でログインし、結果を確認してください。



入学手続き等

納付金等

納付金納入方法については、合格者に送付する合格者入学手続きについてを確認し、該当する金額を入学手続き締切日（P17、P21入学試験日程等を参照）までに納入してください。

授業料のみ、前・後期に分けて分納が可能です。その場合は、後期納付分の納付書を初年度の6月～7月頃に送付予定です。後期授業料は8月（予定）に納入していただくことになりますのでご了承ください。

入学手続きが完了した方には、2次手続き期間終了後に入学許可証を送付します。

※一旦納入された入学金は、理由の如何を問わず返還しません。

入学金の免除について

藍野大学出身者については、入学金相当分の100,000円を免除します。

学校法人藍野大学設置の学校（短期大学、専修学校専門課程）出身者については、入学金の半額相当分の50,000円を免除します。

申請する場合は、Web出願時に指定欄にチェックのうえ出願登録を行い、当該学校の卒業・修了（見込）証明書を提出してください。

日本学生支援機構奨学金制度について

日本学生支援機構奨学金は学業に優れた学生であって経済的理由により修学が困難な者に対して貸与を行うことにより、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的人材の育成に資することを目的としています。詳細は学生支援グループ（072-627-1711）までお問い合わせください。

提出書類について

入学手続きに必要な書類については、合格発表後に送付しますので、指定された期日までに書類を作成し、入学手続きを行ってください。

なお、社会人として病院等に在籍したまま修学しようとする者は、所属長の「承諾書」（書式自由）の提出が必要となります。

看護学研究科に国家資格の取得見込みで入学する者は、国家試験合格発表後に国家試験の「合格証書」のコピーを提出し、免許証交付後そのコピーを提出してください。

※一旦提出された入学手続き書類は、理由の如何を問わず返還しません。

初年度学費納入方法

初年度学費納入方法については下表のA～Dの4パターンあります。

修業年限2年の場合

	1次手続き時	2次手続き時	合計
A	850,000円 【入学金+授業料(年額)+施設設備費】	—	850,000円
B	550,000円 【入学金+授業料(前期)+施設設備費】	—	550,000円
C	100,000円 【入学金】	750,000円 【授業料(年額)+施設設備費】	850,000円
D	100,000円 【入学金】	450,000円 【授業料(前期)+施設設備費】	550,000円

修業年限3年(長期履修制度利用)の場合

	1次手続き時	2次手続き時	合計
A	650,000円 【入学金+授業料(年額)+施設設備費】	—	650,000円
B	450,000円 【入学金+授業料(前期)+施設設備費】	—	450,000円
C	100,000円 【入学金】	550,000円 【授業料(年額)+施設設備費】	650,000円
D	100,000円 【入学金】	350,000円 【授業料(前期)+施設設備費】	450,000円

修業年限2年の場合※看護学研究科助産師課程のみ

	1次手続き時	2次手続き時	合計
A	1,100,000円 【入学金+授業料(年額)+施設設備費+実験実習費】	—	1,100,000円
B	800,000円 【入学金+授業料(前期)+施設設備費+実験実習費】	—	800,000円
C	100,000円 【入学金】	1,000,000円 【授業料(年額)+施設設備費+実験実習費】	1,100,000円
D	100,000円 【入学金】	700,000円 【授業料(前期)+施設設備費+実験実習費】	800,000円

修業年限3年(長期履修制度利用)の場合※看護学研究科助産師課程のみ

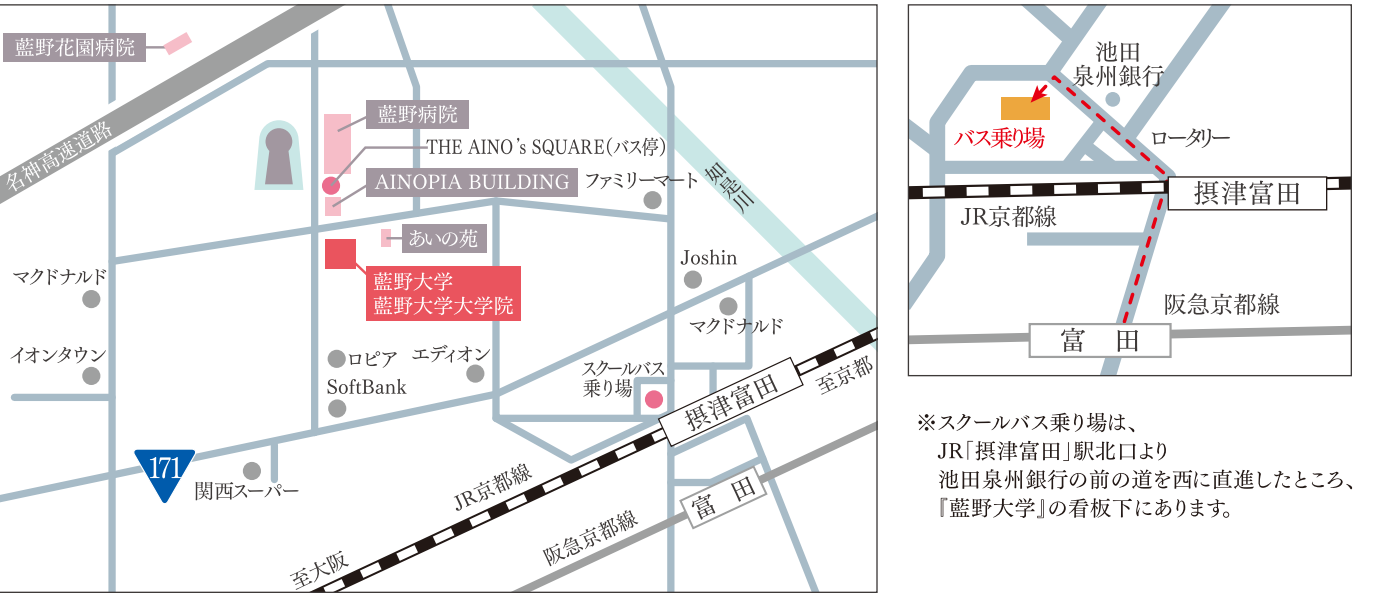
	1次手続き時	2次手続き時	合計
A	900,000円 【入学金+授業料(年額)+施設設備費+実験実習費】	—	900,000円
B	700,000円 【入学金+授業料(前期)+施設設備費+実験実習費】	—	700,000円
C	100,000円 【入学金】	800,000円 【授業料(年額)+施設設備費+実験実習費】	900,000円
D	100,000円 【入学金】	600,000円 【授業料(前期)+施設設備費+実験実習費】	700,000円

研究領域と連絡先

修士課程の領域を相談する窓口の教員と研究指導内容の例、連絡先は下表のとおりです。
出願前に必ず、希望する領域の教員に氏名・連絡先等を記したメールで連絡して、事前相談をしてください。

	分野	領域	相談窓口教員	研究指導内容(例)	連絡先
看護学研究科	実践看護分野	成育看護学	齋藤 祥乃	女性のライフサイクル各期における疫学研究 ウイメンズヘルスに関する研究・妊婦に対する助産技術の研究	y-saito@ns-u.aino.ac.jp
			西田 千夏	発達障害児の両親支援に関する研究・在宅小児緩和ケアにおける多職種連携・小児看護学基礎教育に関する研究	c-nishida@ns-u.aino.ac.jp
		成人・高齢者看護学	本多 容子	高齢者が健やかに暮らせるためのケアや看護技術について研究しています。転倒予防や認知症予防、認知症カフェなどをテーマに、実験研究および調査研究を中心に取り組んでいます。	y-honda@ns-u.aino.ac.jp
			梅田 英子	慢性病とともに生きる人へのセルフケア支援やソーシャルサポートに関する研究 糖尿病看護に関する研究	e-umeda@ns-u.aino.ac.jp
		精神看護学	藤本 智美	精神科看護や精神看護学教育に関する研究・がん患者の精神・心理的苦痛に関する研究 困難な出来事を経験した人々の肯定的な心理的変容(心的外傷後成長)に関する研究	t-fujimoto@ns-u.aino.ac.jp
		災害看護学	西上 あゆみ	医療施設における防災に関する研究・被災地に対する災害支援のあり方・災害看護教育に関する研究	a-nishigami@ns-u.aino.ac.jp
		助産学	希望する方は、研究科長 齋藤祥乃までご相談ください。		y-saito@ns-u.aino.ac.jp
	看護マネジメント分野	地域保健看護学	岩佐 美香	現代的な健康課題に関わる看護教諭の役割に関する研究・学校で働く看護師に関する研究 ※養護教諭専修免許状の取得を希望される方は事前相談をしてください。	m-iwasa@ns-u.aino.ac.jp
			原田 小夜	公衆衛生看護学領域を専門に、高齢者保健、精神保健福祉、難病対策、保健師の現任教育に関する研究	s-harada@ns-u.aino.ac.jp
		看護管理学	林 周子	看護マネジメントにおける人材育成についての課題に関する研究 看護管理者の効果的なサービスマネジメントの探究に関する研究	s-hayashi@ns-u.aino.ac.jp
			中野 玲子	組織目標達成のための看護マネジメントにおける課題に関する研究・看護のめざす将来像を展望し、看護教育のあり方を探究する研究・看護職のキャリア開発や人材育成に関する研究	r-nakano@ns-u.aino.ac.jp
		感染管理学	中田 裕二	感染管理に関する実験研究を行います。 特に共同研究施設からの臨床分離薬剤耐性菌について、薬剤耐性因子解析および分子疫学解析を主とした研究を進めます。	y-nakada@ns-u.aino.ac.jp
健康科学研究科	認知健康科学領域Ⅰ		五十嵐 朗	生体情報の非侵襲計測法および時系列データの解析、その脳・認知科学における応用をテーマとして、計測データの収集および解析を行い、自律神経による生体制御機構に関する研究を行う。	a-ikarashi@me-u.aino.ac.jp
			酒井 浩	脳・認知科学、神経心理学的な事例研究および群研究をもとに、認知的側面に主要な問題を有する人・人たちに 対する評価・介入方法の有用性を検討し、健康増進に寄与できる人材を育成します。臨床事例のみならず、認知 症予防活動、健康増進活動における認知的側面の効果・効果メカニズムの解明についても指導範囲に含みます。	h-sakai@ot-u.aino.ac.jp
			高畑 脩平	小児リハビリテーションを基盤に、読み書き障害や特別支援教育に関する評価・支援方法を探索する。 医療と教育の連携に繋がる実践研究を重視する。	s-takahata@ot-u.aino.ac.jp
			宮本 陳敏	再生リハビリテーション学を軸に、神経筋電気刺激などによる神経・筋機能回復メカニズムの研究を指導する。 国際共同研究を推進し、先端リハビリ技術の臨床応用と国際標準化に貢献できる高度専門職人材を育成する。	c-miyamoto@st.aino.ac.jp
			宮本 年也	高齢者支援、医療政策、介護予防などの社会的課題に取り組み、認知症を含む多様なテーマを対象に、実践と研究を融合した探究を進める。 多職種連携の促進に向けた要素の探究や予防的介入の効果検証、支援・分析スキル の育成を通じて、教育・制度・倫理の視点からと健康増進や共生社会の実現に寄与できる力を育む。	t-miyamoto@ot-u.aino.ac.jp
	認知健康科学領域Ⅱ		安藤 卓	介護予防・転倒予防、健康増進をテーマに、地域在住高齢者および施設入所高齢者の健康に関わる諸問題について研究する。 また、健康行動理論を用いた行動変容アプローチによる高齢者の身体活動促進についても理解を深めていく。	s-ando@pt-u.aino.ac.jp
			岩村 真樹	サルコペニア、フレイル、ダイナペニア、パーキンソン病を中心として神経と骨格筋の関連性を様々な側面から評価し、 人が健康に活動するために必要な要因を追究する。研究アプローチとして、探求したいテーマに応じて最適な手法を柔軟に選択し、実施できる人材を育成する。	m-iwamura@pt-u.aino.ac.jp
	身体健康科学領域Ⅰ		後藤 昌弘	筋力・筋パワー増大、筋肥大、フレイル予防、姿勢改善、運動パフォーマンス向上、ボディメイクなどを目的とするレジスタンス・トレーニングの方法と効果について探究する。	m-goto@pt-u.aino.ac.jp
			田中 貴広	運動器疾患および高齢者の動作・機能障害に対し、画像解析、バイオメカニクスおよび神経生理学的手法を用いた評価に基づき、安全で効果的な運動療法の確立をめざした研究を指導する。	ta-tanaka@pt-u.aino.ac.jp
			寺田 茂	筋緊張の概念と筋緊張を変化させる要因をテーマに、筋緊張が転倒予防に重要な姿勢制御に果たす役割や、関節スティフネスに対する影響について研究する。	s-terada@pt-u.aino.ac.jp
	身体健康科学領域Ⅱ		栗原 秀剛	呼吸器疾患患者ならびに健常者の呼吸機能の維持・改善に対する運動療法ならびに健康増進分野における呼吸機能・呼吸筋力の維持・改善方法や運動療法の効果について研究する。	h-kurihara@pt-u.aino.ac.jp
			森田 恵美子	生体の機能に重要な働きをする分子や病気の原因となる分子について学習を進めるとともに、慢性腎臓病とフレイルの関係について関連する研究論文の抄読会を通じて理解できるようにする。 そしてこれらに関するテーマを決めて、基礎的な研究を実施し修士論文作成を指導する。	e-morita@pt-u.aino.ac.jp
			山科 吉弘	健康増進・疾病予防に関与する腸内細菌叢に着目し、体組成、身体活動量、運動習慣、がん等の疾患との関連性や腸内細菌叢の改善に向けた運動療法の効果について研究する。	y-yamashina@pt-u.aino.ac.jp
			大和 洋輔	血管機能の維持・改善に向けた運動の効果をテーマに、運動が動脈スティフネス(動脈の硬さ)や血流量、血圧、骨格筋の微小循環といった循環機能へ及ぼす影響について研究する。	y-yamato@pt-u.aino.ac.jp

交通アクセス



- JR京都線「摂津富田」駅下車。駅北口より、スクールバスで約7分または徒歩約20分。
- 阪急京都線「富田」駅下車。商店街を北へ徒歩約5分(約200m)のJR「摂津富田」駅北口よりスクールバスで約7分または徒歩約20分。

スクールバス時刻表

時刻	平日						土曜日						日曜日・祝日・長期休暇					
	摂津富田駅前発			The AINO'S SQUARE発			摂津富田駅前発			The AINO'S SQUARE発			摂津富田駅前発			The AINO'S SQUARE発		
07			50															
08	10	20	30	40	50		00	20	40					30				
09	00	20				45	10						10					
10		20	30	40		55		30			55							
11		20	40		30		00			30				30		15		
12		20	40		30	45		35		20	45			30			45	
13	00	10	30		10	45	00			15								
14		30	50	15	40				50		45			30		15		
15		30		15	45			30		15	45							
16			40		30	45				15	45						45	
17			30	00	10	25	45			15	45					15		
18				00	15	45	55			20						00		
19				05	15	40												
20				00														

※入試実施日はバスの増便を行う場合があります。事前にホームページをご確認ください。

(2026年4月時点)